

学科 学年	E 3 S 3 C 3	科目 分類	体 育 (柔道) Physical Education	実技 必修	H 1 7 後期 1 単 位	学習教育 目標 E	担当	丸川岳浩
概 要	柔道は、日本古来の伝統を尊重した我が国特有の運動文化である。その魅力は対人格闘技（1対1）の競技内容や「礼に始まり、礼に終わる」などの「躰」を教育する武士道精神にある。本授業では、柔道を通して、その特性にふれる喜びを実感させるとともに、自ら進んで親しむ態度を養うことを目的とする。							
科目目標 (到達目標)	ルールに従って、自分たちで試合ができるようにする。							
教科書 器材等	柔道着							
評価の基準と 方法	授業への積極姿勢を60%、実技試験（受け身、投げ技、固め技）を40%。60点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
第 1回	ガイダンス（授業計画・授業の進め方の説明・柔道の歴史・技、礼法、安全面）							
第 2回	基本の動作・礼法・組み方・進退動作・くずし体さばき・受け身							
第 3回	以上の基本動作を、徹底的に習得させる。							
第 4回	柔道の補助運動として、エビ・逆エビ・しぼりを学習する。							
第 5回	対人技能（1）固め技と技の連続変化							
第 6回	押さえ技，締め技、関節技							
第 7回	柔道の補助運動として、エビ・逆エビ・しぼりを学習する。							
第 8回								
第 9回	対人技能（2）投げ技							
第10回	手技、腰技、足技、捨て身技							
第11回								
第12回								
第13回	試合・審判							
第14回	実技試験							
第15回	実技試験							
第16回								
第17回								
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
オフィス アワー	授業の前後に質問等に対応することができる。							
備 考								